Green News グリーンニュース　No.33 令和３年４月

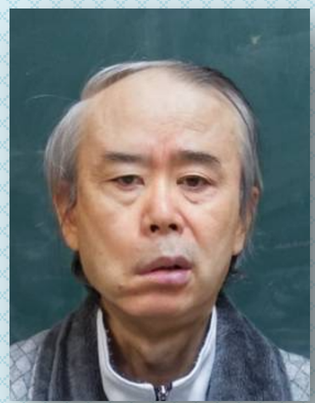
うららかな春の訪れとなりました。春風にのって草花のいい香りがしてきます。寒さもやわらぎ、グリーンではコロナ対策をしながら、屋外散歩を始めた方もいらっしゃいます。適度な日光浴は、骨を強くする効果もありますよ。斜面や砂利道にトライすれば、筋力アップやバランス練習にも。グリーンは理学療法士」等のセラピストはもちろんですが、看護師も積極的にリハビリサービスを提供しています。

持病や体の機能、生活スタイルは十人十色。ご利用者様、ご家族様、それぞれに合ったテーラーメイドのサービスをお届けしたいと思っています。お困りごとがありましたら、お気軽にご相談くださいね。

グリーンには言語聴覚士（ST）がいます！言語聴覚士の活動ご紹介☆

【前橋・Y 様】ハント症候群*で右顔面神経麻痺が残ったＹ様。訪問は週１回 40 分、顔面マッサージと顔面筋の運動を中心に行っています。とても意欲的な方で、自主トレーニングも一生懸命取り組まれています。頬の下がりが解消され、目元、口元が左右対象になってきているのが一目で分かりますよね！お話も聞き取りやすくなっています。勉強熱心で努力家でもあるＹ様、コツコツと頑張った成果がしっかり表れました。元々整ったお顔立ちのＹ様ですが、更に男前になり、鏡を見るのが楽しみになるといいなと思います。

手や足と同じように顔にもたくさんの筋肉がついています。いつまでも元気に「食べる」「話す」ため、顔面のトレーニングも始めてみませんか？ご興味ある方は、担当者へぜひ声をかけてみてください！



開始時
R2.10.19

約２ヶ月後
R2.12.15

約４ヶ月半後
R3.3.1

***ハント症候群…**
顔が動かなくなる顔面神経麻痺に難聴、めまい、耳鳴り、外耳炎を合併した疾患。免疫力の低下により、水疱帯状疱疹ウィルスが活性化すると発症する。

【前橋・T 様】グリーン併設の「有料老人ホーム　リハビリホーム Haku」ご入居中の方です。普段は嚥下や言語障害に対して、口腔ケアや飲み込みの練習、言葉の練習を頑張っていらっしゃいます。この日は天気が良かったので、施設の玄関先でラケットを使って球打ちをしました。右麻痺のあるＴ様は主に左手を使って生活しています。残された機能を活かすお手伝いをするのもセラピスの役割。胸をしっかりひらいて、肩・肘を曲げたり伸ばしたりする運動を提案しました。元テニス部のＴ様。夢中でラケットを振っていらっしゃいました。うまく打ち返せた時は笑顔も☆気分転換で心も元気になっていただけたらと担当 ST が考えました。

グリーンの ST は「食べる」「話す」にとどまらず、心身機能全般をサポートすることができる万能選手です！現在、２名の ST が在籍中。手足の筋トレや歩行練習も対応していますので、ぜひお気軽にご相談ください！

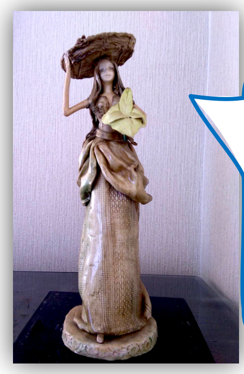
※写真の掲載はご本人の許可を得ています。

春作品、自慢作品届きました！

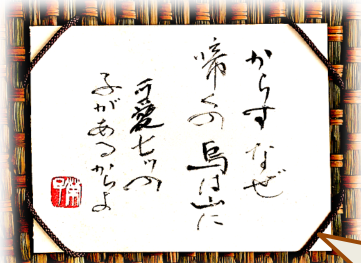
（桐生・Ｔ様）洋ランが趣味。３月中旬、花見頃のデンドロビウムという品種を披露して下さいました。可憐な佇まいにうっとりしますね。

（前橋・Ｈ様）お孫さんが、ひ孫さんの写真をカレンダーにして毎月送って下さるそうです。昨年分を切り抜き、硬質ケースに入れてデコレーションしてみました。訪問日以外にも、シールを貼る作業を進めて下さり、見事なフォトスクラップが完成！こんなに可愛いひ孫さんを眺めながらなら手指のリハビリもやる気が出ちゃいますよね。ひいおばあちゃんとは思えないＨ様の若々しい笑顔も素敵です。

（高崎・Ｈ様）趣のあるエクステリアが羨ましいＨ様宅。今年もクリスマスローズが綺麗に咲きました。上品ですね。



（太田・Ａ様）細かい作業がお好きなＡ様。趣味の人形作りの作品を見せて下さいました。「なんか俺にもできそう」と作ったそうですが…衝撃のクオリティ（驚）!!お見事です☆



（前橋・Ｔ様）書道に勤しんでいらっしゃったＴ様。ご友人に贈った過去の作品を見せてくださいました。柔らかい線が美しくて見とれてしまいます。今も時々、ベッドの上で筆を握るとのこと、作品投稿お待ちしていますよ！

（前橋・Ａ様）ご主人力作の大根。まるいフォルムと先のながーい根が可愛らしいですね。
よっ！色白美人。

（前橋・Ｓ様）芸術家の奥様から春の作品が届きました。右端の恐竜は、奥様が幼少期から憧れるティラノザウルスを描いたそうです。迫力のある構図、センスが素晴らしいです。

我が家のアイドルご紹介♪
訪問は素敵な出会いであふれています。

【前橋・Ｓ様】
奥様と愛犬「チビ太」くん。こたつが大好きなチビ太は大病を乗り越え、５月で御年 18 歳の御長寿犬です。優しそうでつぶらな瞳が奥様に似ていますね。抱っこされて幸せそう♪

投稿コラム第 17 弾（前橋・K 様）

「ある日、考えたこと」

今年の２月、NASA が打ち上げた探査車が火星に着陸した。公開された映像には、重さ１トンの探査車「パーシビアランス」が、火星の赤茶けた表面に降下していく様子が鮮やかに映し出されていた。科学者たちはこれまで、探査車の火星着陸については、その動きを記録したデータからしか読み取ることができなかった。探査車の火星着陸の一連の動作を、初めて直接目撃したのである。NASA の研究員は「何年も待っていた日が遂にやってきました。まだ実感が湧きません。まるで SF 映画の一場面のようです。」と話していた。NASA は火星の地表で撮影した画像や、火星のそよ風の音が聞こえる音声も公開した。天体少年の私は小躍りして喜んだ。

同じ頃、テレビで「黒部の太陽」を観た。元木正次による 1964 年の小説を原作とする映画だ。当時、世紀の難工事と言われた黒部ダム建設の苦闘を描いたものである。石原裕次郎、三船敏郎。錚々たる顔ぶれが演じるトンネル工事のシーンはすさまじい迫力であった。

これまで難しいとされたことを実現させる人たちの情熱は、いつの時代も変わらず美しいものである。私もまだまだ人生三分の一。文章を書き、体を動かし、人と話す。そうして昨日より進歩した自分でいたいと思っている。

訪問看護ステーショングリーン　前橋市樋越町 907　Tel：027-212-9362（担当：石川）